



お問合せ先

益子町観光協会
栃木県芳賀郡益子町益子1591-2
TEL 0285-70-1120

益子町商工会
栃木県芳賀郡益子町益子2044-1
TEL 0285-72-2398

益子焼協同組合
栃木県芳賀郡益子町益子4352-2
TEL 0285-72-3107



発行

益子町産業観光課

〒321-4293
栃木県芳賀郡益子町大字益子2030
TEL 0285-72-8846
FAX 0285-70-1180
<http://www.town.mashiko.tochigi.jp/>



M
A
S
H
I
K
O
Mashiko Super Guide

益・子・紀・行



年間イベント

◆4月下旬～5月上旬
春風益子陶器市 (城内・サヤド周辺)

◆6月24日～7月25日
あじさい祭り (太平神社)

◆6月下旬
献花祭・茅の輪くぐり (太平神社)

◆7月23日～25日
祇園祭 (鹿島神社)

◆7月24日
御神酒頂戴式 (当番町内)

◆8月第一土曜日
芦沼の獅子舞 (芦沼／高麗神社)

◆8月中旬
益子焼お盆セール (城内・サヤド周辺)

◆8月下旬～9月上旬
ましこ炎まつり (陶芸メッセ・益子)

◆10月下旬～11月上旬
秋色益子陶器市 (城内・サヤド周辺)

◆11月23日
益子町産業祭 (町民センター)

◆12月1日～5月末日
いちご狩り

◆1月上旬
益子焼初売り (城内・サヤド周辺)

◆2月下旬
初午祭・大土鍋会 (城内自治会)

春

夏

秋

冬

陶器の産地として、海外にもその名を知られる益子。なだらかに広がる田畑に小高い山や丘、春は水鳥が舞い降り、冬は薄氷に覆われる池、いちご、柿、ぶどう、りんごなど里を彩る四季の恵み…。初めて訪れる人にも、どこかなつかしきを感じさせる町です。



須田ケ池

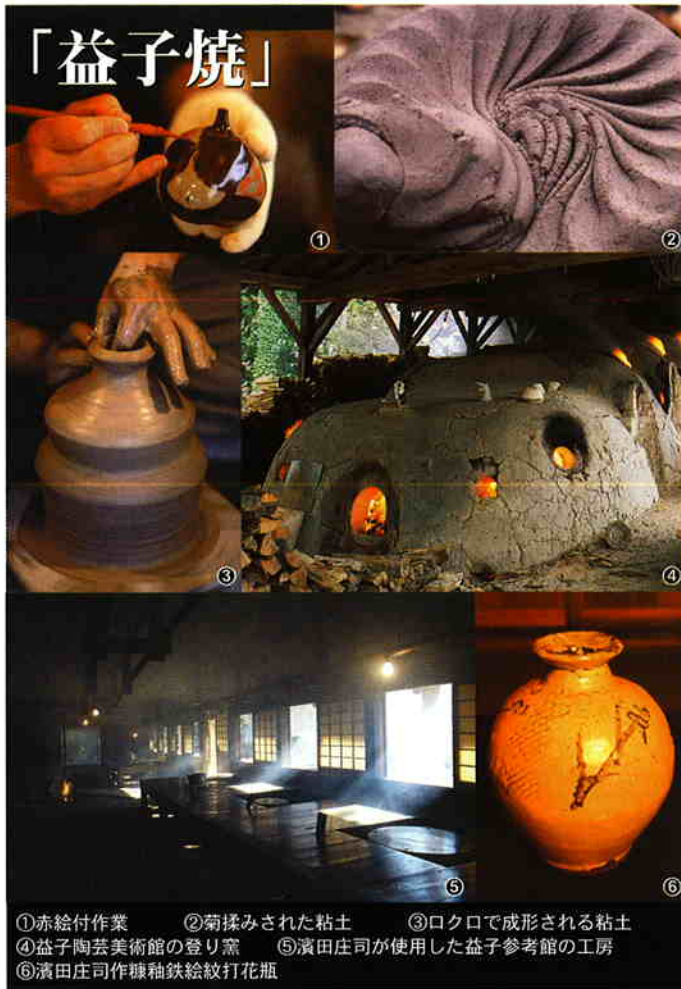
そんな風土を背景に生まれた「益子焼」は、艶のあるなめらかな肌をもつ、たっぷりとした厚手の器。手のひらで包むと、じんわりとあたたかさが伝わってきます。

民芸運動の拠点として大正時代から内外の陶芸家たちを受け入れてきただけあって、進取の気性に富む土地柄も大きな魅力です。足を運ぶたび益子の新しい顔を発見し、奥深さを知ることでしょう。



そば畑

閻魔も微笑む、
自然に抱かれたまち。



「益子焼」

- ①赤絵付作業 ②菊揉みされた粘土 ③ロクロで成形される粘土
 ④益子陶芸美術館の登り窯 ⑤濱田庄司が使用した益子参考館の工房
 ⑥濱田庄司作糠釉鉄絵紋打花瓶

土に感謝し、炎に祈る

益子焼は江戸時代末期、笠間で修業した大塚啓三郎が窯を築いたことに始まると言われています。

以来、優れた陶土を産出すること、大市場東京に近いことから、鉢、水がめ、土瓶などの日用の道具の産地として発展をとげます。

1924年に濱田庄司がこの地に移住し、「用の美」に着目した柳宗悦らと共に民芸運動を進めるかたわら、地元の陶工たちに大きな影響を与え、「芸術品」としての側面ももつようになり、若手からベテランまでここに窯を構える陶芸家も多く、その作風は多種多様です。

北郷谷の原土



益子六釉

●ましころくゆう



●ましことうきいち 益子陶器市

昭和41年から開催されている益子恒例の行事で、「とちぎのまつり100選」にも選ばれています。春・秋の年2回開催され、春には約40万人、秋には15万人の人々が訪れる、町をあげての一大イベントとなっています。湯呑みや箸置き、皿などの日用雑器から壺・花瓶などの美術品まで通常の価格より安く販売されます。その他、地元産の農産物なども販売され、人気を呼んでいます。

●益子町観光協会 <http://www.mashiko-kankou.org/>



●じょうないざかどおり 城内坂通り

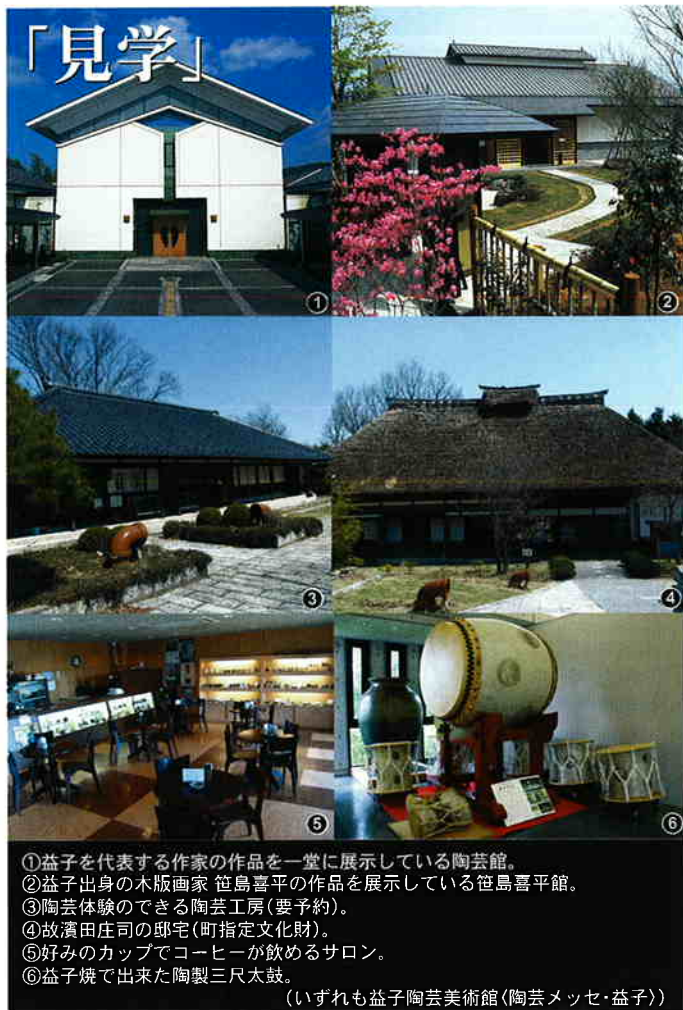
器店の数は約30軒。軒先に並ぶ素朴な陶器は、観光客の目を楽しませてくれます。近年の都市計画で歩道やトイレなど、街並も整備され、ゆったりと散策を楽しむことができるようになりました。

●とうげいたいけん 陶芸体験

益子には、誰もが気軽に焼き物に挑戦できる陶芸教室がたくさんあり、見るだけでなく、楽しみながらオリジナル作品を作ることができます。



●益子町観光協会 <http://www.mashiko-kankou.org/>



- ① 益子を代表する作家の作品を一堂に展示している陶芸館。
 ② 益子出身の木版画家 笹島喜平の作品を展示している笹島喜平館。
 ③ 陶芸体験のできる陶芸工房(要予約)。
 ④ 故濱田庄司の邸宅(町指定文化財)。
 ⑤ 好みのカップでコーヒーが飲めるサロン。
 ⑥ 益子焼で出来た陶製三尺太鼓。

(いずれも益子陶芸美術館(陶芸メッセ・益子))

益子の粹に触れる



笹島喜平作木版画

●ましことうげいびじゅつがん

益子陶芸美術館 (陶芸メッセ・益子)

陶 芸の丘にある陶芸メッセ・益子。メインとなる「益子陶芸美術館」では人間国宝の濱田庄司や島岡達三の作品などを常設展示するほか、企画展を開催しています。また敷地内に「旧濱田庄司邸」を移築し、その前には濱田庄司が生前愛用した登り窯なども復元されています。陶芸工房では陶芸体験ができます。TEL0285-72-7555



●陶芸メッセ・益子 <http://art-mashiko.jp>



●ましこさんこうがん

益子参考館

故 濱田庄司氏の作陶の場で、作品や濱田氏が諸外国で蒐集した工芸品などが展示されています。

<http://www.mashiko-sankokan.net/> TEL.0285-72-5300



●つかもとびじゅつぎやんがん

つかもと美術記念館

窯 元「つかもと」で学び巣立った著名な陶芸家や交流のあった芸術家の陶芸作品・美術工芸品などを展示。益子焼百有余年の歴史の一端を再現しています。

<http://www.tsukamoto.net/> TEL.0285-72-9002

●わくな・なんどーる・あーと・ぎやらりー

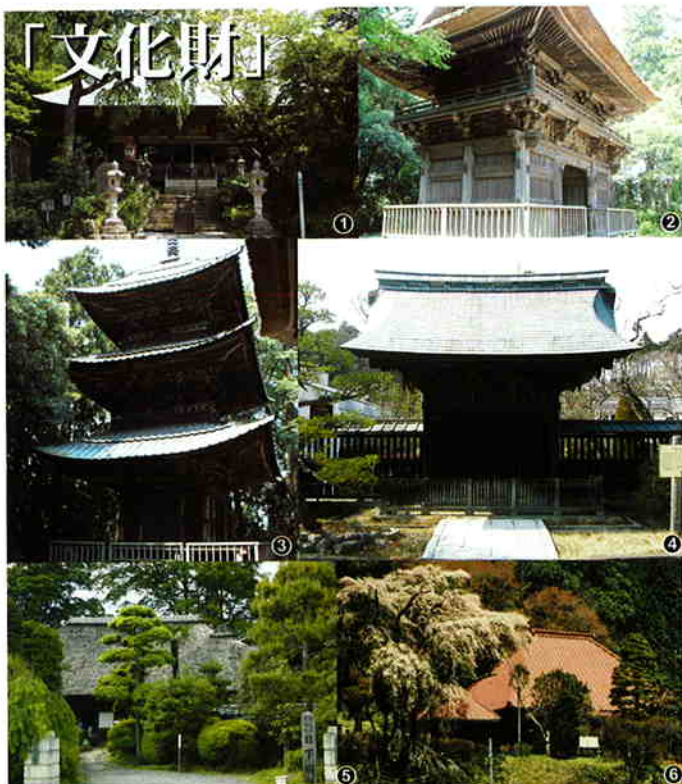
ワグナー・ナンドール アートギャラリー

A ンガリー出身の彫刻家ワグナー・ナンドールの作品(彫刻・絵画・陶器・テラコッタ)を展示。また生前、創作活動の拠点であったアトリエや学生寮、茶室なども見ることができます。定期展覧会を春秋2回1ヶ月ずつ開催しています。

TEL.0285-72-9866

<http://wagnernandor.com/indexj.htm>





- ①1394年建立、県指定文化財の西明寺本堂。
 ②1492年建立、国指定重要文化財の西明寺楼門。
 ③関東甲信越四大古塔の一つ西明寺三重塔。
 ④1402年開基。学問所として名僧を輩出した円通寺。
 ⑤江戸時代中期からの紺屋。県指定文化財。
 ⑥県内唯一のウグイス張り廊下の安善寺。

自然を楽しむ社寺めぐり

益子には、室町・鎌倉まで遡るような貴重な文化財が点在しています。益子の高台にある西明寺は、国指定重要文化財の楼門や三重塔、非常に珍しい笑い閻魔大王などみどころも多く、しっとりとした趣きです。また、自然の宝庫、大羽の里は、地蔵院や宇都宮家の墓、綱・大倉神社などが点在し、のんびりと訪れるのもいいでしょう。



さいみょうじ 西明寺

長い階段をのぼりつめると、正面に楼門、左手に三重塔と鐘楼、右手に国内でも珍しい笑い閻魔大王、そして中央奥に本堂がそびえています。楼門と三重塔、そして本堂内の厨子が国指定重要文化財に指定されています。

<http://fumon.jp/>



うつのみやげのはか 宇都宮家の墓

宇都宮家累代の墓で、三代城主朝綱が地蔵院に隠棲して、ここに墓所を定めました。三十三代正綱に至るまで代々埋葬されています。県指定文化財です。



じぞういん 地蔵院

室町時代の建立と推定され、側柱が角柱、内部は円柱とし阿弥陀堂式の平面を構成しています。国指定重要文化財です。



綱神社



大倉神社

つな・おおくらじんじゃ 綱・大倉神社

綱神社は1194年宇都宮朝綱が創建したもので、国指定重要文化財です。大倉神社は、807年の創建と伝えられています。本殿は一間社流造り、茅葺屋根で国指定重要文化財です。

光明寺のしだれ桜



春

あじさい公園のやまゆり



夏



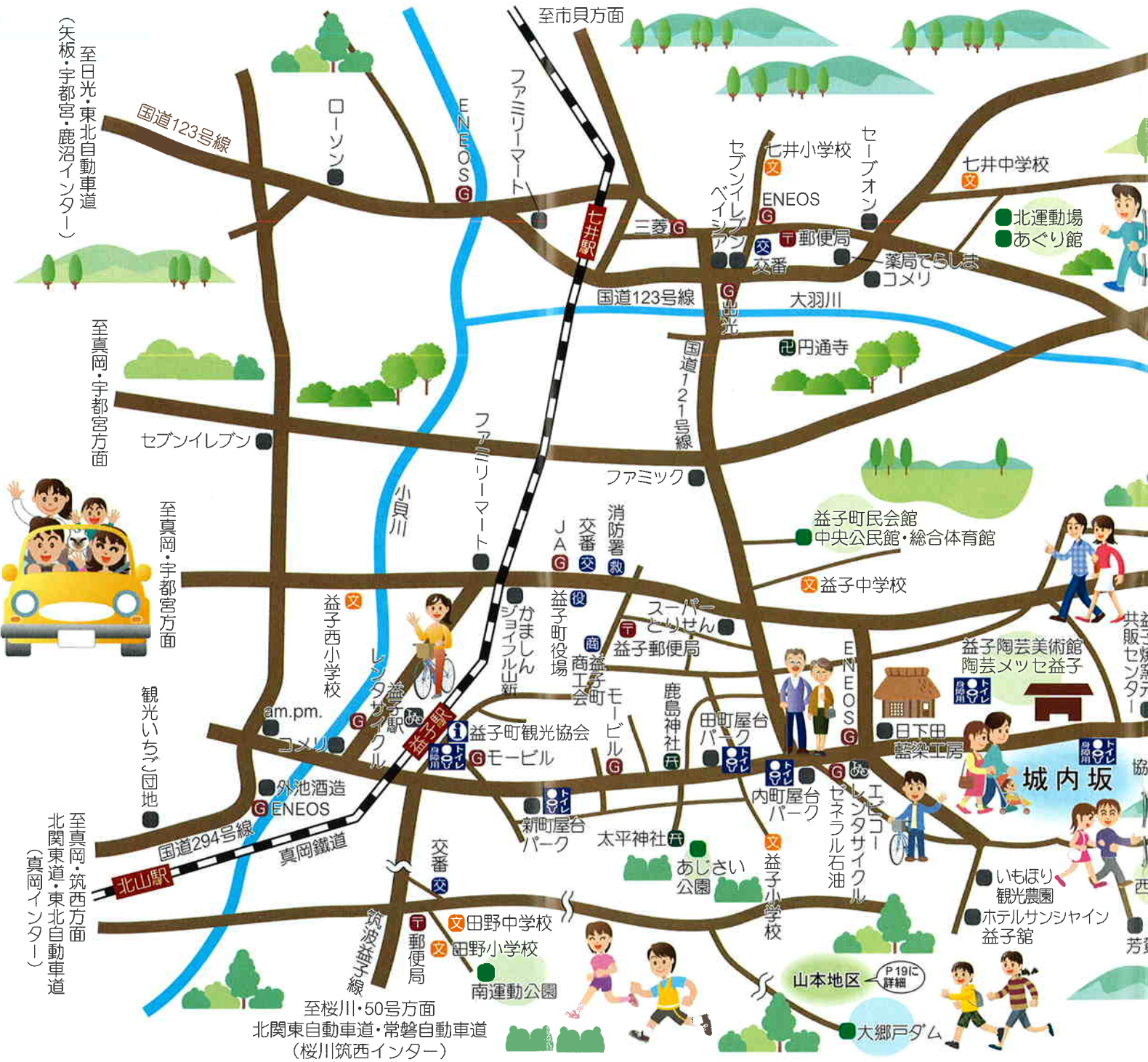
秋

西明寺の紅葉

冬



須田ヶ池の雪景色



至日光・東北自動車道
(矢板・宇都宮・鹿沼インター)

至真岡・宇都宮方面

至真岡・宇都宮方面

観光いちご団地

至真岡・筑西方面
北関東自動車道・東北自動車道
(真岡インター)

至桜川・50号方面
北関東自動車道・常磐自動車道
(桜川筑西インター)

至市貝方面

●北運動場
●あぐり館

城内坂

●いもほり
観光農園
●ホテルサンシャイン
益子館

山本地区 P19に詳細

●大郷戸ダム

国道123号線

国道123号線

国道121号線

国道294号線

真岡鐵道

筑波鉄道

ファミリーマート

ファミリーマート

ファミック

鹿島神社

交番

交番

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

国道294号線

至茂木・那須烏山方面

国道123号線

旧小宅小

安善寺

至茂木方面

MASHIKO
イラストマップ

県道1号(宇都宮笠間)線

益子参考館

至水戸・笠間・
常磐自動車道方面

ローソン

つかもと陶芸広場
サヤド

須田ヶ池

益子カントリー倶楽部

益子陶芸村
益子焼窯元
共取センター

つかもと
美術記念館

- 益子の森
- フォレストイン益子
- フォレスト益子
- 天体観測施設

つかもと
アートギャラリー

高館山
キャンプ場

- 地蔵院
- 宇都宮家の墓
- 綱・大倉神社

益子焼窯元
協同組合

窯業技術支援センター

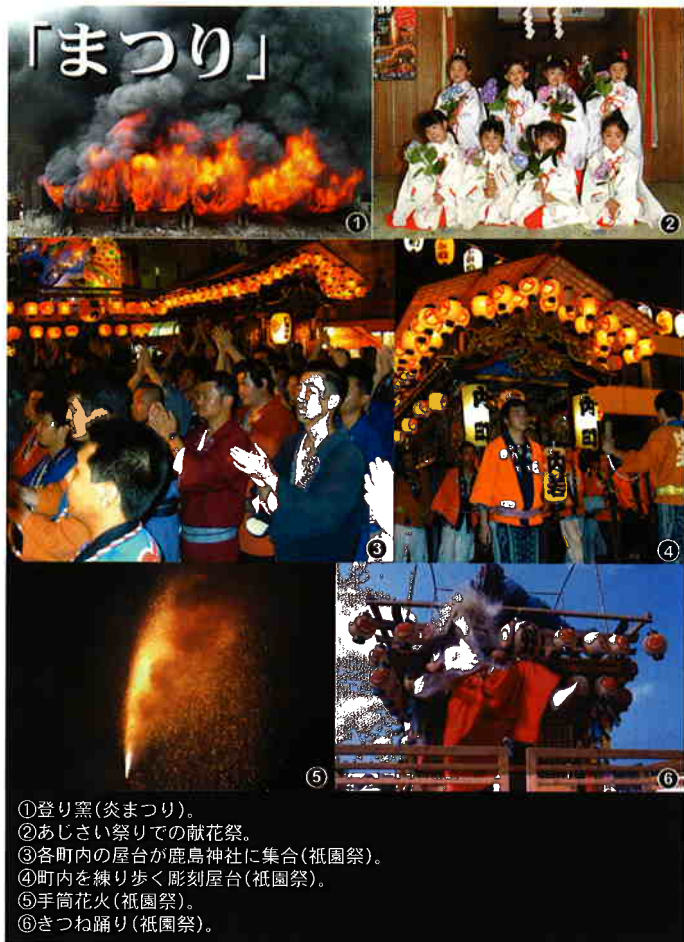
西明寺

芳賀青年の家

旧太羽小学校

雨巻山へ





- ① 登り窯(炎まつり)。
 ② あじさい祭りでの献花祭。
 ③ 各町内の屋台が鹿島神社に集合(祇園祭)。
 ④ 町内を練り歩く彫刻屋台(祇園祭)。
 ⑤ 手筒花火(祇園祭)。
 ⑥ きつね踊り(祇園祭)。

伝統が息づくまつり

昔から伝わる伝統的な祭と
 新たに生まれる祭があります。



城内屋台



毎年7月23日から25日までの3日間、八坂神社の祭礼として行われる祭りです。期間中、神輿や山車が町内を練り歩きます。24日には関東の三大奇祭と言われる御神酒頂戴式が行われます。これは祭の当番引き継ぎの儀式で、1年365日になぞらえた3升6合5勺(約6.5L)入る大盃に注がれた熱燗を、次の当番町の男衆10人で3杯飲み干します。

●ぎおんまつり **祇園祭**

●鹿島神社
<http://www.kashimajinja.com/>



●あじさいまつり
あじさい祭り

あじさい公園には約7000本のあじさいが咲き誇ります。毎年6月24日から7月25日にかけてあじさいまつりが行われ、期間中、献花祭や大祓・茅の輪くぐり、陶板大神輿の渡御などが行われます。

●鹿島神社
<http://www.kashimajinja.com/>

観音堂に年3回奉納される獅子舞で、通称「芦沼ササラ」と呼ばれ、1月と12月に一部を、8月の第一土曜日にすべてを舞います。約800年前、御館山に陣を構えた八幡太郎義家が勇壮な舞により士気を高めたのが起源とされ、一時途絶えていましたが、昭和47年に復活しました。

芦沼の獅子舞

●あしめものししまい



松本歌舞伎舞台は、江戸時代の後期より松本地区で始められたとされています。この舞台の特徴は、一枚12組(4間、7.2m)のふすま絵が12組あり、これらがからくり操作により相互に遠近描写が生かされ、見事な歌舞伎の背景が出来上がります。組み立て式の歌舞伎小屋の材料は現存するものがほとんどなく、設計図も消失し、昭和27年を最後に50年あまり開催されませんでした。平成13年から3年をかけ舞台を復元しました。



●まつもとかびきぶたいこうえん
松本歌舞伎舞台公演

●ましこのほのおまつり
ましこの炎まつり

陶芸メッセ・益子の登り窯を利用して、自分で制作した素焼作品に釉薬をかけ焼成することができます。毎年8月下旬から9月上旬までで行われます。

●益子町商工会
<http://mashiko.shokokai-tochigi.or.jp/>



- ①甘くておいしい「とちおとめ」。
 ②北関東最大の規模を誇る観光いちご団地で食べることができる。
 ③いもほり観光農園。
 ④掘りたてのさつまいも。
 ⑤日本最大級の屈折望遠鏡を備えた天体観測施設もある。
 ⑥休憩所や研修施設、展示室も完備。(⑤・⑥益子の森)

自然を感じる



益子の森 ●ましこのもり
 フォレスト益子 TEL.0285-70-3305

面 積約31haのなだらかな丘陵地で、アカマツやコナラ、クリ、ヤマザクラなどの落葉広葉樹でおおわれている里山林です。林内には約4kmの散策路、芝生広場、アスレチック、吊り橋、展望塔などが整備されています。

また、休憩・宿泊・レストランの施設「フォレスト益子」や、SDレンズを使用した日本最大級の屈折望遠鏡を備えた天体観測施設もあります。

雨巻山

益 子町最高峰(533.3m)で、春から秋にかけてはいろいろな花々が山を彩り、秋から冬にかけては、筑波山、足尾から日光、塩原、那須の山々、遠く富士山の眺望が得られます。



大郷戸ダム

益 子町南部の水田約400haを潤す農業用ダム。農業用水確保の目的とあわせて、ダムの周辺には桜や紅葉などの植栽、遊歩道や芝生広場など整備されています。



くだもの狩り

北 関東最大の規模を誇る観光いちご狩りのほか、りんご、梨、ぶどう、いもほり体験などがあります。

●益子町観光協会
<http://www.mashiko-kankou.org/>



ちよっと足をのばして
カントリーウォーク
農村の風情に浸り
山本・大郷戸地区を
歩いてみよう！

山本・大郷戸地区ってどんなところ？

益子町の中でもこの地区は、とりわけ農業が盛んで素朴な山里です。ここには有名な滝があるわけでもなく、有名な山があるわけでもありません。ふっと通り過ぎてしまうような里です。しかしそんな普段着の里には、よく見ると素敵な一瞬一瞬が四季折々に存在しています。そこに住む人たちの日常と触れあう時、きっとゆっくりとした時間を発見することができるでしょう。土に触れたり、ホテルの光を追い掛けたり、一緒になって収穫したり…。風や光を感じながら、普段着の郷を体験してみませんか。

農村で感じる **身近な自然**

四季折々の **農業の営み**

農家の暮らしに育まれた **歴史や文化**



●ふれあいの郷 <http://www.fureainosato.com/>



カントリーウォークのマナー

礼儀をわきまえて気持ちよく歩こう

- 地元の人に会ったら一言あいさつを。
- 農村は暮らしの場、ゴミや騒音は禁物。
- 草花や昆虫はみんなのもの。採らないで見るだけに。
- 気に入ったら、今度は友達を誘って出かけよう！

